

実は隣のスコイ人

曾於市内のスコイ人にスコイ人を紹介してもらったこのコーナー。前回のスコイ人、濱田郁恵さんにご紹介いただいたこの方は「ジュニアメンバーの憧れの的 迫力満点な大隅弥五郎太鼓を今後も盛り上げ続けるスコイ人」とのこと。



巨人伝説太鼓衆 大隅弥五郎太鼓

いのうえ あいみ
井上 愛実さん

今回は、巨人伝説太鼓衆 大隅弥五郎太鼓の一員である井上愛実さんに話を伺ってきました。普段は大隅町にある小濱農園の従業員として、スプレー菊の植付・収穫作業などを行っています。

井上さんが大隅弥五郎太鼓を始めたのは中学1年生から。

「3歳から小学6年生まで日本舞踊を習っていた時に太鼓を叩く機会があり、それから太鼓に興味が出てきたので弥五郎太鼓に入りました」

週2回の練習では、男性に負けない叩き方や迫力を意識しているそう。

21年間、大隅弥五郎太鼓の一員として県内や都市部、三股町のイベントなどに出演。

「巨人」という曲を演奏するときに付けるお面を取ると「女性だったんだ！」と観客の声が聞こえた時は嬉しかったです」

自身の経験や技術を35名の弥五郎太鼓ジュニアに伝えているそう。

「子どもたちには太鼓の楽しさを知ってもらい、大人になっても太鼓を叩きに帰ってきてほしいです」結婚や出産を機に太鼓から離れる

時期もありましたが「やっぱり太鼓が叩きたい!!」と復帰した経緯も。大隅弥五郎太鼓のメンバーたちは、自分たちが心から太鼓を楽しみ姿を見せることで、観客も楽しませるということを考えて演奏しているそう。

「弥五郎太鼓のメンバーがいたから今まで太鼓を続けてこれました。また太鼓の練習や出演があるときは両親や夫が、家事・育児に協力してくれて感謝しかないです」

長年、太鼓を叩いてきた井上さん。それでも弥五郎どん祭りの一週間前になるとソワソワしてくるそう。

「弥五郎どん祭りの神事で演奏するときは神聖な雰囲気を感じ、今でも緊張します。でも徐々に慣れてくると普段通り楽しんで演奏できます」

弥五郎どん祭りで一番好きな曲は「浜下り」。演奏すると、観客も手拍子や「ワッショイ」と声掛けしてくれるそう。

「演奏を見た人が覚えてくれて、声をかけてもらったことがあり嬉しかったです。それを励みにまだまだ太鼓を続けていきたいです」と話してくれました。

